

■ 出獄者更正に尽力

川村 養助

かわむら ようすけ

出身地 三種町（旧山本町）

1864年（元治元年）～1905年（明治38年）

若くして下岩川村長、県会議員を務める。反対派に告発され、2年間獄中の身となる。投獄中に^{しゅつごく}出獄者の社会復帰が困難なことを知り、その救済を決意。出獄後、私財を投じて保護所を設け、秋田至仁会の基礎をつくる。



年譜

- 1864年 三種町（旧山本町）に生まれる。
- 1889年 下岩川村長に就任。
- 1893年 県会議員に当選。
- 1894年 手違いから業務上横領、公文書偽造行使の疑いで反対派に告発され、98年に投獄される。
- 1900年 出獄。私財を投じて有志と秋田出獄人保護所（現・秋田至仁会）を創設。
- 1903年 財団法人となり初代主事に就任。
- 1905年 秋田市で没。41歳。